

様式第二号の八(第八条の四の五関係) ※前年度、産業廃棄物発生量 1,000 t 以上の使用様式

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和5年 6月27日	
山梨県知事 殿	
提出者	
住 所 川崎市中原区田尻町61番地	
氏 名 株式会社 織戸組	
代表取締役社長 織戸 一郎	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 044(555)1111	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 織戸組 山梨白根工場
事業場の所在地	山梨県南アルプス市駒場148-1
計画期間	2023年 4月 1日～2024年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	採石業、砂利採取業
②事業の規模	製品出荷額 5億円/年
③従業員数	29人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添図参照

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
統括責任者	■■ ■■	生産本部長
廃棄物処理計画担当	■■ ■■	工場長
事務担当者	■■ ■■	課長
連絡先	本社	044(555)1111
連絡先	山梨白根工場	055(285)3771
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度(2022年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	汚泥
	排出量	60,080 t
	(これまでに実施した取組) 脱水による減量、特に脱水装置(フィルタープレス)濾布の適宜洗浄及び交換により脱水能力の低下防止に努めております	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	汚泥
	排出量	50,000 t
	(今後実施する予定の取組) 現在の取組を継続して行います。	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 排出する産業廃棄物は、汚泥のみであるため分別はありません。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 排出する産業廃棄物は、汚泥のみであるため分別はありません。	

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
① 現状	【前年度（2022年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	60,080 t
	(これまでに実施した取組) 自ら利用として、土砂と混合処理し砕石場内の客土へ利用するほか、砂利採取地の埋土への利用を行っております。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	50,000 t
	(今後実施する予定の取組) 現状での取組を継続して行います。	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
① 現状	【前年度（平成 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t
	(今後実施する予定の取組)	

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
① 現状	【前年度（平成 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t
	(今後実施する予定の取組)	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
① 現状	【前年度（平成 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	汚泥
	全処理委託量	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
	(これまでに実施した取組)	

②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	0 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(任意) 事業系一般廃棄物に関する事項

自ら行う事業系一般廃棄物の処理施設への搬入に関する事項							
① 現 状	【前年度（平成 年度）実績】						
	一般廃棄物の種類						
	排 出 量	kg	kg	kg	kg	kg	kg
	(これまでに実施した取組)						
② 計 画	【目標】						
	一般廃棄物の種類						
	排 出 量	kg	kg	kg	kg	kg	kg
	(今後実施する予定の計画)						
許可業者への処理の委託に関する事項							
① 現 状	【前年度（平成 年度）実績】						
	一般廃棄物の種類						
	排 出 量	kg	kg	kg	kg	kg	kg
	(これまでに実施した取組)						
② 計 画	【目標】						
	一般廃棄物の種類						
	排 出 量	kg	kg	kg	kg	kg	kg
	(今後実施する予定の計画)						

(第7面)

備考

(第1面)～(第5面)について(法で定める事項)

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

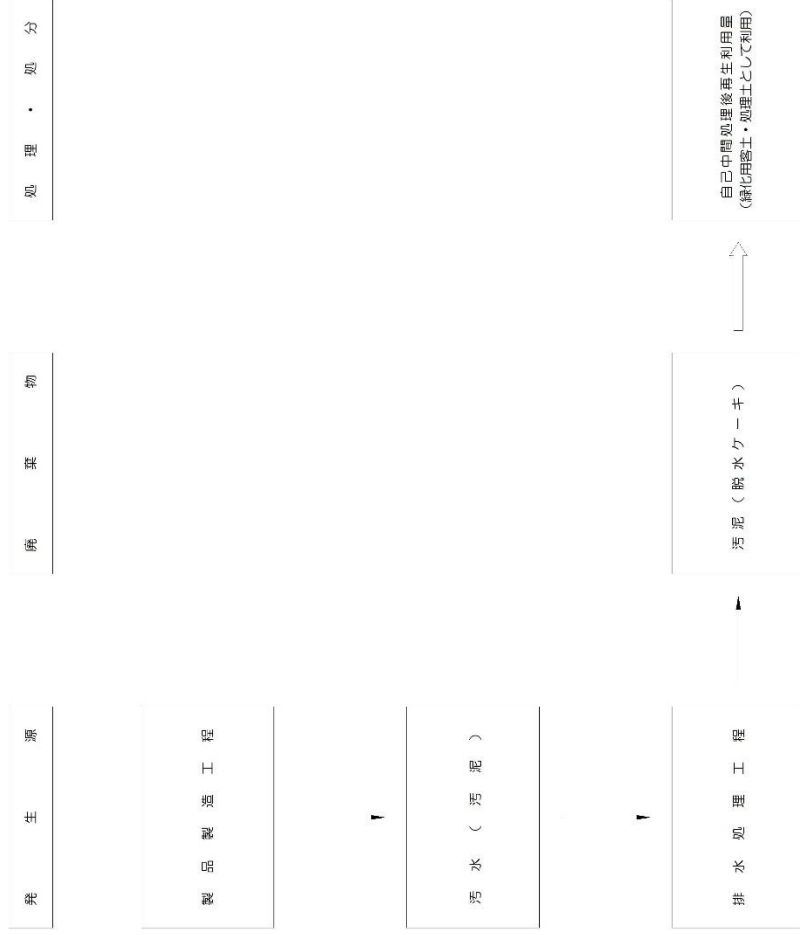
(第6面)について(事業系一般廃棄物に関する事項で記入は任意です)

- ・事業系一般廃棄物に関し減量の取組を行っている、又は今後取組む方は記入をお願いします。

- 一般廃棄物の種類については、「紙」、「びん」、「缶」等で分別している場合は、その区分の記載をお願いします。細かく分別していない場合は、「可燃物」、「不燃物」等の記載をお願いします。
- 同封しました「トライ産廃スリム」の対象として、事業系一般廃棄物も含まれます。



産業廃棄物処理工程



図面名称 産業廃棄物処理工程図  
 工事名称 福岡県山梨組白根工務砂利採取事業  
 工事場所 山梨県南アルプス市駒場地内  
 縮 尺  
 作成年月日 平成30年 6月12日  
 施工者株式会社 福岡組